

平成23年5月19日

静岡県内小中学校長様  
特別支援教育コーディネーター様

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会  
会長（静岡市立番町小学校長）宇佐美昌好

## 特別な支援を必要とする児童生徒の調査について（協力依頼）

時下、貴職におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、言語・聴覚・発達障害教育並びに本会の活動に格別のご高配を賜り、深く感謝いたします。

さて、本会では、昭和44年の結成以来、県内の言語・聴覚・発達障害教育に関わる者の資質向上と教育条件の整備に努めてまいりました。近年では、特別支援教育の実施に伴い、保護者や学校からのニーズが拡大したり、求められる専門性に変化が生じたりしており、新たな課題への取り組みが急務となっております。

そこで、通常の学級における通級指導についてのニーズを把握し、今後の体制づくりや担当者の専門性の向上を図るため、標記のように調査を計画いたしました。

つきましては、校務多忙の折、誠に恐縮ではありますが、今後の言語・聴覚・発達障害教育並びに通級指導の充実のため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（なお、このことについては、県校長会のご了解もいただいておりますので、重ねてご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。）

### 記

- 1 目的 静岡県内小中学校における通級指導についてのニーズを把握する。
- 2 対象 静岡県内全公立小中学校
- 3 方法 校内特別支援教育コーディネーターの先生が別添調査用紙に回答してください。
- 4 回収  
(1) 期限 平成23年7月15日(金)  
(2) 方法 文書便等にて下の通級指導教室までご送付ください。

小学校	教室
-----	----

- 5 お問い合わせ 静岡市立番町小学校通級指導教室 〒420-0071 静岡市葵区一番町 50  
電話・FAX 054-252-8800

## 特別な支援を必要とする児童・生徒についての調査

### 【特別支援教育コーディネーターの先生へ】

この調査は、静岡県内の小中学校に通級指導を必要とする児童生徒がどのくらいいるのかなど通級指導教室に対する小中学校のニーズを把握するために行うものです。本調査を実施する静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会は、県内の通級指導教室や難聴学級設置校の校長や担当者が中心となって言語・聴覚・発達障害教育についての研究を行う組織です。

集計されたデータは、教室の設置や整備など、より充実した通級教育を模索していく上での資料として活用させていただきます。統計的に扱い、個人・学校を特定できるような活用の仕方はいたしませんので、ご協力ください。

問1 お勤めの学校の市町名と校種を教えてください。（校種は当てはまるものに○）

市  
町

全校児童・生徒数

人

校種 : 小学校 ・ 中学校

◆以下の内容をお読みいただき、問2以降にお答えください。

静岡県内には、言語(ことば)、難聴(きこえ)、発達の通級指導教室と難聴学級があります。通級指導教室とは、小・中学校の通常学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を決められた時間に通級指導教室で受ける指導形態です。各教室・学級の対象とする児童生徒は以下のとおりです。

- 言語通級指導教室…発音に誤りがある、吃音がある、使える言葉の数が少ないなど
- 難聴通級指導教室・難聴学級…耳の聞こえが悪い、補聴器を使っている。
- 発達通級指導教室…LD、ADHD、高機能自閉症など発達に偏りがある。

問2 下記の教室・学級があることを知っていますか。（当てはまるものに○をつけてください。）

教室・学級種	知っている	知らなかった
言語教室		
難聴教室		
難聴学級		
発達教室		

問3 あなたの学校で現在、通級指導教室での支援を受けている児童・生徒の人数（1）並びに、支援は受けていないが通級指導教室での支援が必要と思われる児童・生徒の人数（2）を記入してください。 ※中学校は1年～3年の欄にご記入ください。 6月1日現在

学年	(1) 現在通級中							(2) 通級してないが通級・入級が必要						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
言語教室														
難聴教室														
難聴学級														
発達教室														
計														

◆現在、支援は受けていないが通級指導教室（言語・難聴・発達）の支援が必要であると思われる児童生徒についてお聞きします。

問4 自校の中で何らかの支援が行われていますか。支援している場合は、各々の支援を受けている人数を記入してください。（複数回答可）

- ア 支援を必要としている児童生徒に支援員がついている (            人)
- イ 通常学級の中で担任が支援を行っている (            人)
- ウ ある時間に取り出しで学習をしている (            人)
- エ 医療機関等に定期的に通って支援を受けている (            人)
- オ スクールカウンセラーや巡回指導を受けている。 (            人)
- カ 特別な支援は行っていない (            人)
- キ その他  

	(            人)
--	-----------------

問5 通級指導教室での支援が必要であるのに、現在、通級していない（通級できない）理由と人数を教えてください。（複数回答可）

	言語	難聴	発達
・市町内に通級指導教室が設置されていないから	人	人	人
・最寄りの通級指導教室までが遠いから	人	人	人
・児童・生徒自身が通級を望まないと思うから	人	人	人
・保護者が通級を望まないと思うから	人	人	人
・保護者の送迎が困難だから	人	人	人
・定員の関係等で、現在、入級を待っている状態だから	人	人	人
・その他			

問6 通級指導教室に対して、どのような支援を期待・希望しますか。

児童・生徒への支援（例：通級時間数の拡大、学級での支援、巡回指導など）	
貴校・学級担任への支援（例：校内特別支援教育研修への参加、学級担任への助言など）	

問7 通級指導教室・難聴学級についてのご意見等ございましたらお聞かせください。

(例：入級関係、施設設備、在籍校との連携、指導形態、設置校数の拡大など)	
--------------------------------------	--

ご協力ありがとうございました。